NEWS　RELEASE
SHOKO CHUKIN BANK

人を思う。未来を思う。
商工中金

2025年5月8日
商　工　中　金

BCP対策に取り組む株式会社カネゼンに対し、災害対応型コミットメントラインを締結

商工中金は、地域経済への影響力を有する中小企業組合や中小企業の皆さまが取り組む、産業構造の変革への挑戦を、積極的にサポートしています。

商工中金（静岡支店）は、**株式会社カネゼン**（本社：静岡県焼津市、代表者：田村 敦史）に対し、災害対応型コミットメントライン（※1）7億円を開設しました。

同社は、かつお節の製造業者です。静岡県焼津市と鹿児島県枕崎市に拠点を有し、燻製や乾燥の処理など伝統的な製法を守りながら、FSSC22000（※2）の認証を本社工場で取得するなど高度な衛生管理体制を構築しています。

（※2）食品安全マネジメントシステムに関する国際規格

今回同社は、日本各地で相次ぐ自然災害発生時のBCP対策のため、大規模自然災害の発生等が金融機関の貸付不能事由になりうる一般的なコミットメントラインではなく、地震等の大規模自然災害発生時にも安定した資金調達が可能な「災害対応型コミットメントライン」の導入を計画しました。これにより、大規模自然災害発生時においても販売先の要望に迅速かつ柔軟な対応ができるよう、円滑な資金調達手段を確保することで事業の継続性を高め、ステークホルダーからの信頼を高めていきます。

商工中金は、現地訪問や経営者へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を行い、財務上の強みや課題を共有。静岡県と鹿児島県に拠点を構える同社が、災害時にも販売先から安定供給が求められることを確認し、同社のBCP対策の一環として、有事の災害に備え、災害発生時にも安定して資金調達が可能な災害対応型コミットメントラインを開設しました。

商工中金は、地域経済にとって必要不可欠な中小企業の価値向上を、関係機関等と連携してサポートすることで、地域活性化に貢献してまいります。

【災害対応型コミットメントライン契約（※）の概要】

コミット総額	7億円
契約締結日	2025年4月18日
コミット期間	2025年4月18日　～　2026年4月15日（更新0P4回）
特徴	静岡県下における震度7以上の地震発生時や災害救助法の適用される津波の発生時にも、コミット総額の範囲内であらかじめ定められた条件に基づく迅速な資金調達が可能。

人を思う。未来を思う。
商工中金

【株式会社カネゼンの概要】

所　在　地	静岡県焼津市一色 166-1	資　本　金	1,003 万円
代　表　者	田村　敦史	従 業 員 数	71 名 (2024 年 12 月時点)
業　　種	水産食料品製造	設　　立	1966 年 1 月

（※1）コミットメントラインとは、企業と金融機関があらかじめ設定した期間・融資枠の範囲内で、企業が随時借入を可能とする契約です。一般的なコミットメントラインでは、震災等の大規模災害時には金融機関の貸付不能事由とされているため、企業にとって大規模災害発生直後の資金確保に困難が生じる可能性があります。一方、災害対応型コミットメントラインは、一定規模以上の震災等について金融機関の貸付不能事由から除外した契約となっているため、震災等の異常事態発生時も含めて、融資枠の範囲内であれば、あらかじめ定められた条件に基づき迅速な資金調達が可能となります。